

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢のテラス			
○保護者評価実施期間	R6年 8月 1日	～	R6年 9月 18日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	R6年 8月 1日	～	R6年 8月 31日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 9月 18日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員全員が子ども主体の支援をしていること。	その日の自分の支援を振り返り、改善点を探り、次に生かすようPDCAを繰り返している。	個々の現在の支援目標を頻繁に把握し、職員一人一人が支援に生かす。
2	所属している集団(保育園等)を訪問し、会議等を設けることで子どもにかかわる機関で連携を図るよう努めている。	保護者の同意を得て、家庭はもちろん、保育園・発達支援センター・相談支援事業所等と連携することで、当施設のみでは把握できない様子や発達状況の情報交換を行っている。	それぞれの場所(集団等)での対応策等を当施設で積極的に取り入れ、連携して子どもの成長をサポートできるようにする。
3	PT・OT・STを交えた研修を行うことで、支援の質の向上に努めることができる。	月に一度、法人内の放課後等デイサービス「虹のテラス」の職員と、それぞれが抱える問題点等を、専門職等違う視点からも解決できるよう研修を行っている。	専門職が常駐しているわけではないため、意識的にコミュニケーションを取る時間を設ける。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別課題よりも小集団活動を充実させるような活動プログラムにしている。	利用者の年齢層(発達年齢) 部屋の構造	必要な時に使用できる、ワンフロアでありながらも、集中できる個別スペースの確保。
2	戸外遊びができない。	周りに公園等がないこと 敷地内は広いが柵がなく危険	歩いて行ける公園はないため、もしニーズがあるようなら公園等に現地集合して戸外遊びの時間を提供することを検討する。
3	ワンフロアなため、カームダウンエリアの確保	部屋が区切られておらず、すぐに落ち着ける場所を確保するのが難しい。	段ボール等を使って仕切ったり、玄関が広いので、安全を確保し一時的に使用している。